

地域で見守り、支え合う 共生社会の形成へ



公明党 なおの 克

●子育て支援について

問) 地域で見守り、育児不安を抱える母親などにアウトリーチでサポートする体制を求める。

市) 職員が巡回し、課題を早期発見し、様々な子育て支援サービスの情報提供、相談に応じる。

問) 総合相談やワンストップで行える体制づくり、さらに中央地区拠点を確保する事が重要だ。

市) 教育委員会との連携や拠点整備を行いたい。

問) 昨年からインフルエンザ予防接種の助成について未就学児を対象に開始したが、さらなる対象枠の拡大を図って頂きたい。

市) 対象年齢の拡大を検討していく。

●キャリア教育について

問) 新規学卒者の離職率が高く社会的な問題だ。働く事の意義、職業観の形成に向け、様々な専門家の学びの機会を得るよう検討して頂きたい。

教育長) 学習活動を充実する必要がある。校長連絡会等で情報提供、意見交換をしていく。

●空き家・空き地等の対策について

問) 空き家・空き地の利活用で所有者に関する情報を求められた場合、提供すべきと考える。

市) 空き家所有者の同意を得れば、情報提供は可能だ。対応のための仕組みづくりを考えたい。

問) 土地の登記を促す取り組みや所有者不明になりかねない土地や空き家の再生に取組むべき。

市) 相続登記を促す取り組みや公民連携の中で、研究を進めてまいりたい。

問) 国が所有者不明土地について、自治体でのイベント等で有効利用ができる新制度を検討しているが、すぐ対応できるよう準備を求む。

市) 必要な対応が図られるよう準備を進める。

問) 空き家バンクの登録促進のために、空き家を利用したい方も登録すべきだ。

市) 利活用の促進に向け取り組んでまいりたい。

●福祉施策・移動支援事業について

問) ガイドヘルパー不足解消に向けて、見直し、充実を図って頂きたい。

市) 今後、さらに細かな情報収集、利用実態の把握を行い、課題を整理していく。

問) 利用条件の内容について使いやすさを求める声も高い。見直しや丁寧な対応を求める。

市) よりきめ細かな対応を検討してまいりたい。

切れ目ない口腔環境ケアで 将来負担の軽減を



公明党 高橋 りょう子

(1) 乳幼児の健康推進施策

問①体調の急変で受診出来なくなった予防接種のスケジュール管理システムの導入を求めて来たが「ぶんぶんロケット」として10月から導入出来たことを高く評価し更なる周知を求める。

市) 10月末時点で140名、1歳未満は74名の登録を頂き大変好評。情報提供・周知に努める。

問②永久歯の土台となる幼少期の口腔環境が重要。小学校入学後は保護者の目も届かなくなりがちで口腔衛生状態に影響が出始める。学童保育や低学年時でのブラッシング指導など切れ目ない支援で虫歯予防と将来の医療費負担抑制を。

市) 学童は歯科衛生士による指導を進め、学校は歯科医師会、各学校とも協議し検証してみる。

(2) 介護・子育て支援人材確保の取り組み

問) 高齢者への生活援助サービス支援や介護人材、子どもの育児支援には担い手確保が求められる。子育てや介護経験を積んだ市民を対象に健康保険証発送時に呼びかけチラシを同封する等、庁内各課が連携協力し、人材確保への取り組みを検討しては如何か。又事業者への人材紹介の橋渡しには社協にも協力頂いては如何か。

市) 支え手となる人材育成、活躍の場の受け入れ体制を作り橋渡しを担って頂くよう依頼する。

(3) 生活習慣病の学習を教育現場でも実施を

問) 大人になってから習慣を変えるのは簡単ではない。教育現場でも学びの中で取り組みを。教育長) 生活習慣の確立、意図的・計画的な健康教育を推進し成果を発信していく。

(4) ぶんバス北町ルート乗客アップの取組を

問) バス停が少なく最寄駅で乗降出来ず乗客が少ないのが現状。J R西国分寺駅延伸など検討を。

市) バス停増設に向け民間バス会社の既存バス停共有使用等を協議し西国延伸も検討していく。

(5) 緑地確保にもなる都市農業の振興支援を

問) 国分寺駅北口再開発ビルで農畜産物販売が出来れば地産地消や営農者支援となる為推進を。

市) 町の賑わいとしても生産者と連携していく。

その他) ①新生児の聴覚検査勧奨。②高齢者配食サービスで安否確認を。③男性介護者の実態把握で介護離職や共倒れ防止への支援を。④期日前投票の体制強化を。等質問しました。

エネルギー施策は 市民と共に取り組む視点で



国分寺・生活者ネットワーク 秋本 あすか

◆環境基本計画における施策の推進秋本) 来年度第三次国分寺市地球温暖化防止行動計画の市役所版を見直す際、同時に地球温暖化対策実行計画の市域版を策定すべきである。市民や事業者と共に取り組む、市全体のエネルギー推進施策が必要だ。市域版策定検討の必要性は認識している。施策の具体的な効果や実行性の検証等、次年度以降、策定要否も含め検討する。秋本) 学校施設増築や公共施設のマネジメントが進む中、再生可能エネルギーの設置には庁内連携でしっかり取り組むべき。市民への住宅用太陽光発電機器等設置助成制度では太陽光発電機器・再生燃料電池コージェネレーション機器共に、設置促進を念頭に周知に力を入れよ。秋本) 予算編成時期に設置推進を庁内周知した。関係課連携を進める。さらに新築確認申請を届ける際の助成制度案内を開始した。秋本) 新たな施策の調査検討は市民や事業者と意見共有しながら進め、皆で取り組めるエネルギー施策を作ることが大切。その協議の過程こそが市域版策定に繋がる。

◆化学物質過敏症対策秋本) 柔軟剤・制汗剤等の香りが原因で健康被害を訴える方がいる。香害と言われ、日本消費者連盟が初めて相談窓口を設置した。自ら使用せず被害を受ける点で受動喫煙と同様。市でも新たな課題として認識と対策が必要、互いに理解を促すために、HPやポスター等での周知啓発を。秋本) 香害の問題は認識している。医療との関係や専門性の観点もあり、関係部署と協議し研究しながら進める。

◆空き家の利活用について秋本) 4月開始の空き家バンクは未だ利活用は進んでいない。課題は何か。秋本) 建築年数が経過し改修に費用が要る状

況が多い。秋本) 所有者と利用者双方への助成が必要。秋本) 空き家活用は地域コミュニティ活性化の施策と認識。助成の仕組みづくりは関係部署との調整が必要だが、活用可能な制度を情報収集したい。利用者の活用目的の公開も利活用推進に繋がる。利用者登録を始め、実績を積む。秋本) 所有者と利用者が意見交換や利活用の事例を通じ、イメージ共有することが必要だ。庁内連携して場の設定を。秋本) 関係部署との連携を検討する。

保育待機児童解消 教員の長時間勤務の改善等



公明党 木島 たかし

保育の待機児童解消へ寄り添った支援を

問) 入所申請に関する説明会の十分な周知や、駅近くの公共施設等での出張相談の開催検討を。

答) 相談体制の充実を図るために検討する。

問) 子育て支援全般(妊娠、出産、保育、学童、検診、遊び場等)の情報が一元的でわかりやすいサイト(ホームページやアプリ等)が必要。

答) 他自治体を参考に組みたい。

問) 待機児童解消、保育士の処遇改善に向け、都の緊急対策補助事業等を積極的に活用すべき。

答) 状況を把握し必要な対策を検討したい。

子どもの学びと育ちを支える取り組みを

問) 学校内の人材の充実で「チームとしての学校」を推進するとともに、保護者や地域が一体で子どもの育ちを応援する取組がさらに必要。

答) 実現に向け環境を整備し推進していく。

問) 中学校生徒の部活動終了後の最終的な下校時刻が若干遅いのでは? 教員の長時間勤務改善や生徒の安全な下校のため、日没の早い冬季だけでも前倒しを検討すべき。

答) 現状を十分に把握しながら検討を進めたい。

災害に強い安全安心のまちづくりに向けて

問) 前定例会の一般質問で、通電が原因の火災を防ぐため、地震時に設定以上の揺れを感知して自動で電気を遮断する「感震ブレーカー」の設置促進へ助成制度を提案したが状況は?

答) 平成30年度の実施に向け取り組む。

問) 近年多発する集中豪雨対策強化の為、関係法が改正されたが、市内のハザードマップ(被害予測地図)の見直しが必要では?

答) 来年度更新する。避難体制も再度検討する。

街灯・道路照明灯のLED化について

問) 積極的な対応を求めてきたが現状は?

答) 市管理分は街灯76%・道路照明灯15%、自治会管理分は24%がLEDに対応済み。概ね順調。

問) 自治会によっては、費用の課題からLED化

次ページに続く

映像配信について



平成29年第4回定例会の本会議で行われた一般質問と議案審議の様子が市議会のホームページからご覧になれます。また、次回第1回定例会の代表質問と議案審議のライブ中継・録画配信も行います。ぜひご活用ください。



本会議の動画配信QRコード

スマートフォン等で読み取るとサイトにアクセスできます!

